

生命を生み出す母親は 生命を育て 生命を守ることをのぞみます

第59回
茨城県

母親大会

2019年6月2日(日)

in 常陸大宮

常陸大宮市文化センター・ロゼホール
おおみやコミュニティーセンター



受付：各分科会会場にて（9:30～）
分科会/10:00～12:30
全体会（ロゼホール）/13:30～16:00
母親パレード/16:00～16:30

<資料代>●一般/1000円

- 学生・障がい者/800円
- 高校生以下無料
- 乳幼児連れの方参加補助あります
- 保育あります（1歳児以上）事前申し込み

記念講演 浜 矩子さん

（同志社大学大学院教授）

「幸せの経済への帰り道

—求められる政策の正しい在り方—」



主催：第59回茨城県母親大会実行委員会

水郡地域（那珂・常陸大宮・常陸太田・大子）母親大会実行委員会

協力：県北地域母親大会実行委員会 連絡先：TEL029-824-8949 FAX029-824-8947

どなたでも参加できます

<後援>常陸大宮市・同教育委員会、那珂市・同教育委員会、常陸太田市・同教育委員会、大子町・教育委員会、北茨城市・同教育委員会、高萩市・同教育委員会、日立市・同教育委員会、東海村・同教育委員会、ひたちなか市・同教育委員会、社会福祉法人常陸大宮市社会福祉協議会、一般社団法人茨城県医師会、一般社団法人茨城県保険医協会、茨城県農業協同組合中央会、茨城県生活協同組合連合会、茨城県消費者団体連絡会、いばらきコープ生活協同組合、常総生活協同組合、公益社団法人茨城県栄養士会、国民の食料と健康を守る茨城県連絡会、茨城保育運動連絡会、茨城県地域人権運動連合会、民主教育をすすめる茨城県民会議、NHK水戸放送局、茨城放送、茨城新聞社、朝日新聞水戸総局、毎日新聞水戸支局、読売新聞水戸支局、産経新聞水戸支局、東京新聞水戸支局

分科会 (10:00~12:30)

おおみや
コミュニティーセンター

ロゼホール

映画「あの日のオルガン」

— 太平洋戦争末期、日本で初めて保育園を疎開させた
保母たちの実話 — 視聴後、平和運動の交流

鑑賞代 300 円 <大ホール>

<シンポジウム> 夜間中学の記録映画
「**こんばんはⅡ**」を見て、話し合いませんか
シンポジスト・須田登美雄さん(全国夜間中学校研究
会理事、夜間学級教員)・森康行さん(「こんばんはⅡ」
監督)・自主夜間中学生 <小ホール>

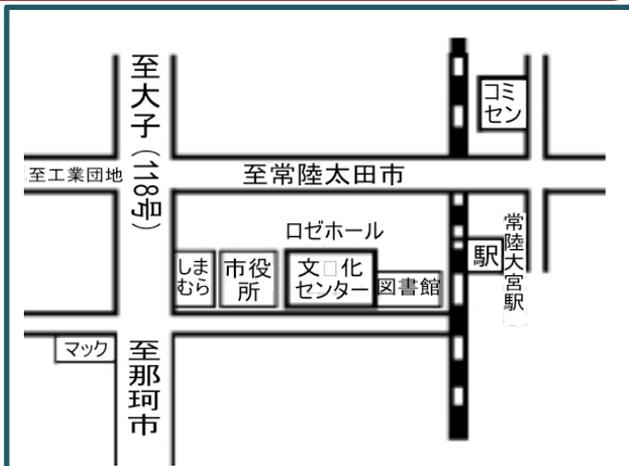
<実践講座> **心を育てる**
— 絵本のよみきかせ —
助言者：森のおはなし会 <リハーサル室2>

どうしたらいいの？女性の低年金問題
— 男女差別が年金格差につながる —
助言者：馬場目トミ子さん(全日本年金者組合
女性部長) <会議室1>

今 上げてはいけない 消費税
— 10%増税は、生活と地域経済を破壊する —
助言者：木口 力さん(全国消費税をなくす会事務局
長) <会議室2>

<実践> **三十一文字で描く平和のねがい**
— 短歌の世界によろこそ —
助言者：奈良達雄さん(新日本歌人協会全国幹事)
<和室>

ロゼホール・おおみやコミセン地図



東海第二原発再稼働 NO!!
— 福島原発事故避難者からの訴えをもとに考える —
助言者：丹治杉江さん(前橋地裁・原発避難者訴訟原告
・前橋平和委員会事務局長) <研修室1>

《講座》 **新時代 大変ですよ、医療・介護**
— 今、知っておきたいこと —
助言者：木村冬樹さん(茨城県民主医療機関連合会事務局
長)、岡山朋子さん(主任ケアマネージャー) <研修室2>

家族農業 10年スタート!
— 人のつながりと絆で営む農業 —
助言者：斎藤博嗣さん(一反百姓「じねん道」/小規模・
家族農業ネットワーク・ジャパン) <研修室4>

女性差別撤廃条約採択 40周年
— 日本女性の人権を国際基準にしよう —
助言者：山下泰子さん(文京学院大学名誉教授、国際
女性の地位協会会長) <多目的ホール>

<実践> **蒔絵体験**
— 漆工芸の楽しさを体験しよう —
指導：大子漆工芸くらぶ
定員 20 名：事前申し込み
材料費 500 円~1000 円 <研修室3>

《見学1》 **小瀬一揆 史跡めぐり**
— 蜂起した明治の農民たち —
助言者：小林茂さん(郷土史家) 定員 40 名
バス代 300 円 申し込みの際、昼食の希望の有無も
<説明・昼食：緒川総合センター>

《見学2》 **青蓮寺にまつわる実話**
— 若い姉妹が豊後から病の父を迎えに300里 —
お話：青蓮寺住職さん
定員 25 名 バス代 300 円

《見学3》 **戦争末期の風船爆弾**
— 風船爆弾と西の内和紙の見学 —
助言者：藤田稜威雄さん(北茨城9条の会代表世話人)
穂積建三さん(茨城県自治体問題研究所理事)
定員 25 名 バス代 300 円
申し込みの際、昼食の希望の有無も
<説明・昼食：山方高齢者センター>

- ◆ 昼食は各自ご準備ください。
- ◆ 軽食を販売します
- ◆ ゴミはお持ち帰り願います。

保育・漆工芸・見学は事前の申し込み。 見学受付：ロゼホール
漆工芸・見学：定員超過の場合は抽選。 いずれも FAX またはメールで
締切：5月22日(水) FAX：029-824-8947
Emaile：hahaoyaibaraki@sa3.so-net.ne.jp